

☒ 書整備費の予算確保を!



石橋 達八 議員

【質問】 特区制度が平成 23 年度まで延長された。更なる地域活性化が必要である。特に、市民の中からのチャレンジが求められる。

【市長】 今、国では頑張る地域には応援してくれる姿勢を示している。市としては特区だけに限らず地域活性化政策(特区、地域再生、都市再生、中心市街地活性化)を踏まえ

魅力ある地域づくりに向けて取り組んでいく。

【質問】 更なる学校図書館図書整備費の確保を求める。

【教育長】 年度内に増額補正を行い、学校図書館図書の整備充実に努める。

【質問】 団塊の世代の人たちが退職期を迎える。優れた知識や技術を持った意欲ある人材を、教育の分野で再活用して頂くため「教育サポート制度」が創設される。市内は元より都会からの誘導を図るための準備を整えるべきである。

【教育長】 制度が実施される運びとなった場合には、積極的に地域の人材を活用し、学校教育の充実を図る。

☒ EPA・FTA農業交渉反対



小松 大成 議員

【質問】 現在政府は豪州とのEPA交渉を開始している。次に来る米国との交渉などが妥協するようなことになれば国内の食料自給率は、農水省試算でも12%台に激減するとの報告がある。農業は遠野地方の重要産業であり、これ以上の自給率低下は地域崩壊を招く。遠野市としてもEPA交渉反対の声を上げるべきと思うが。

【市長】 岩手県市長会、東北市長会、全国市長会でEPA交渉反対の特別決議を行い、現在要望活動をしている。

【質問】 クレジット、サラ金などの多重債務問題が近年特に社会問題化してきている。多重債務被害者の実態把握をしているか。被害者に対する支援対策の強化を求める。

【市長】 市では「弁護士無料法律相談」にて対応している。専門家にお任せすることで確実かつ的確な問題解決で救済している。

【その他の質問】 教育再生会議報告に対する教育長の見解はどのようなものか。

綾織小学校改築と中学校再編成について



照井 文雄 議員

【質問】 これから家を建てる人や植林ボランティアをした人に地元木材をプレゼントしてはどうか。地球温暖化防止や伝統技能の伝承につながるのではないか。

【市長】 人材育成の支援や市営住宅整備にも技能の伝承につながるように取り組んでいく。

【質問】 中学校再編成検討委員会が設置され、前段階の市民懇談会等で十分な意見の集約が出来たか。中学校再編に伴い空き校舎を利用する話が出ている。綾織町民は小学校改築を望んでいるが。

【教育長】 中学校再編成については更に議論し、学校や地域の協力のもと、安心して伸び伸びと意欲を持つ教育環境をつくる。綾織小学校は平成19年度に基本設計、23年度に供用開始予定であったが、中学校再編で空き校舎になった場合は「学びのプラットホーム」構想と合わせ、将来反省点を残さないようにしたい。改築しないということではない。

【その他の質問】 観光客の誘客について

夢のある農村確立を



新田 勝見 議員

【質問】 「永遠の日本のふるさと」を目指すためには、様々な課題が山積している。私は夢のある農業・農村の確立なくして「永遠の日本のふるさと」はないと思う。市長の考えている農業・農村地域の理想とビジョンは何か。

【市長】 市総合計画と「ASTチャレンジ100」により着実に進めている。

【質問】 農業専従者所得が1人当たり80万円程度である。今こそ、農業所得の向上と担い手の本格的な育成が必要であると思う。遠野の農業の将来について危惧されるが。

【市長】 ASTを中心として試行・チャレンジし、検証・反応等の確認をしながら進めている。その積み重ねの中から、担い手や若者等を農業・集落に定着するよう誘導し、夢のある地域になるよう着実に実行していく。

【質問】 修学旅行等のファームステイが増えている。水洗トイレ等の環境整備が必要と思うが。

【市長】 特別に優先枠を決めて実施することも検討する。

【その他の質問】 で・くらす遠野について。「ごみポイ捨て禁止条例」について。